

移住成功理由は、神社の秋祭り！？



**サテライトオフィスは、  
農山漁村に人と仕事と活気を呼ぶ**

【講師】徳島県 美波町 政策推進課 主査 鍛冶淳也 氏

【日時】2019年3月7日(木)13:30~15:30(予定)

【参加費】2,000円

【会場】一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構会議室  
千代田区神田東松下町45番地神田金子ビル5階

人口7000名弱の過疎地域、美波町は「美波ふるさと創造戦略」を 2012年に策定し、サテライトオフィスの誘致、門前町の復興等を核とした地方創生に取り組みを推進することにしました。

2017年時点の企業誘致は徳島県最多の17社、移住者は70名以上になっています。誘致が成功している大きな理由は、地元のイベント「日和佐八幡神社秋祭り」。徳島県内がテレビの地上波デジタル化で難視聴区域となることから、光ファイバーによる高速通信インターネット網が整備されていることも要因ですが、美波町は、太平洋の大海原と山の自然、澄み切った川などの大自然にかこまれ、四国霊場23番札所である薬王寺に参拝するお遍路さんで門前町は賑わい、室戸阿南海岸国指定公園でもある大浜海岸では夏になるとアカウミガメが産卵、また 県南部はサーフィンやダイビングなどマリンスポーツも盛んと、地域の人柄豊かな自然にふれて移住を決意する人も少なくないのです。

秋には八幡神社で大きな秋祭りがあり、祭りをとおして地元の人との交流も盛んで、過疎地でも可能な企業誘致・若者誘致として期待も高く、豊かな自然と地域の人々の人柄が資源となって、次の世代を担う若者の働く場、生活の場として、中山間地域の生き残りを町ぐるみで展開しています。